

高校生 まち改善策提案

武生東生、市にプラン集



奈良越前市長(右)にまちの課題改善のアイデア集を贈る武生東高生の2人＝12日、市役所

越前市の課題を生徒自身で見つけ、改善策を考えて提案する課題探究「ヒノ・クエスト」に取り組んでいる武生東高の生徒たちが12日、昨年度に考えた課題解決のアイデアを冊子にまとめて同市に贈った。冊子は

市内の2図書館と17公民館に設置される。ヒノ・クエストは地域に根ざしたグローバル人材の育成を目指し、同校が昨春から当時の1年生を対象にスタートさせた授業。3年生までかけて、生徒それぞれ

れが見つけたテーマに向かい合う。昨年度は行政や企業、各種団体に対する聞き取りやフィールドワークなどを行った。

冊子「ハッピー作戦集」は、高校生目線のまちの課題に触れてもらおうと生徒190人全員のプラン案を収録した。テーマは産業、福祉、教育、環境など多岐に渡り、持続可能な世界を目指す国際目標(SDGs)の観点で分類した。

この日は、編集を担当し

た酒井瑞歩さん(2年)と小嶋更紗さん(同)が市役所を訪れ、奈良俊幸市長に冊子を手渡した。今後の進路を見据えて課題探究に取り組む2人に対し、奈良市長は「それぞれが重要な課題。いろいろなアプローチを試みて、ぜひ現場に出て学んでほしい」と今後の展開に期待を寄せた。

同校によると、本年度は関係するテーマの生徒でチームを組み、改善策の実践に挑む予定。(高島健)